

富山県における建設業界の 人材育成・女性活躍の取組みについて

富山県 土木部 建設技術企画課

1. はじめに

建設業は、社会資本の整備や維持管理、災害対応や除雪等の担い手として、地域の安全・安心を支える重要な産業です。しかし、公共事業の減少や競争の激化による経営環境の悪化から、建設業従事者の減少とともに、他産業に比べて若手入職者の減少が進んでいること、若手入職者の離職率が高いこと等が課題となっています。

本稿では、地域に貢献し技術力と経営力に優れた建設業の発展を図るため、将来を担う若手技術者や女性技術者の確保・育成に向けた富山県の取組みを紹介します。

2. 若者と女性が輝く建設業支援事業

(1) 建設業労働環境改善支援補助事業

若手や女性の技術者の入職・定着促進を図るため、労働環境や労働条件の改善に取り組む企業に対して補助しています（平成 27～29 年度までの 3 年間）。

- ・補助事例：トイレ・シャワー設備の改修，ファン付き作業服の購入，育児休業制度等社内規定の整備 等
- ・補助率：1/2（補助限度額 10 万円，採択枠 15 件程度）

(2) 除雪オペレーター育成支援事業

県道の除雪作業のための大型特殊免許取得費や，除雪機械管理施工技術講習会受講費に対して補助しています（平成 27 年度から）。

- ・補助率：1/2（補助限度額 5 万円，採択枠 20 件程度）

3. 地域創生人材育成事業

厚生労働省からの委託事業として，実施しています（平成 27～29 年度までの 3 年間）。

(1) 建設人材教育訓練等事業

① 資格取得支援講座

- ・対象者：建設企業在職者
- ・対象資格：土木施工管理技術検定試験，建築施工管理技術検定試験
- ・内容：講座 1 回につき 3 日間の短期集中型講習

② 新入社員向け研修

- ・対象者：入社 1～3 年目の社員
- ・目的：1) 基礎知識の習得
2) 企業間交流を通じて同年代との交流を深めることによる，定着率の向上

③ 就職直前技能向上研修

- ・対象者：建設企業への就職を希望する高校生
- ・内容：玉掛け技能研修，小型移動式クレーン研修

④ 就職 PR 事業

1) 合同就職説明会

ヤングジョブとやま主催の合同就職説明会において，建設業の専門ブースを設け，仕事の内容や魅力を伝えるパネルの掲示やパンフレットの配布を行うほか，建設業への就職に関する各種相談に応じます。

2) 出前講座

県内の高校に，建設業界で活躍する高校 OB や県職員が出向き，学生と保護者を対象に，建設業の社会的役割や重要性を伝えるとともに，建設業で働くやりがいや魅力を発信し，建設業への入職につなげます。

3) 保護者向け建設現場見学会

高校生の進路選択に影響力を持つ保護者を対象に，建設業の役割や重要性，スケールの大きさ，親として気になる現場の雰囲気などを肌で感じてもらうため，普段は入ることのできない建設工事現場の見学会を開催します。

(2) 建設人材確保育成事業

新たに中途採用で女性や若手（45歳未満）の技術者・技能者を雇用し，人材育成を行う建設企業に対し，県が雇用型訓練を委託します。

委託内容は，雇用した女性や若手の技術者等に対する，実際の就業の場での指導による実務経験の付与（OJT）や外部研修の受講（OFF-JT）であり，建設業に必要な知識，技術を習得することで，雇用後の定着を推進します。

4. 一般女性の視点から建設業の魅力 を PR！パンフレット「TSUKURU」

建設業の担い手確保のため，一般女性が建設業の魅力を PR するパンフレット「TSUKURU」（つ

くる）を作成し，今後建設業の担い手になりうる高校生等に配布しています（図-1）。

本パンフレットは，建設業になじみのない一般女性がレポーターになり，現場訪問や建設業で働く女性との座談会を行ってもらい，女性目線から発見した建設業の魅力をまとめたものです。

パンフレットの最後には，「土木」と「建築」，「技術者」と「技能者」の違いについても紹介しています。

また，表紙にはレポーターの私服姿も載せてアイキャッチ効果を高め，思わず手に取りたくなるパンフレットを目指しました。



図-1 TSUKURU 表紙

5. 大学の科学イベントへの出展

富山県立大学で毎年開催されている，親子で科学の面白さに触れてもらうイベントに，建設関係の協会と連携しブースを出展しています。

「将来を担う若手技術者の確保を図りたい」という建設業界の喫緊の課題と「次世代を担う子供たちの科学への関心を高め，豊かな創造性や可能性を育む」というイベントの目的が合致していることから，出展させていただくことになりました。

今年度は，8月5日（土）に開催され，「ドローンや測量，ペーパークラフトで楽しく“けんせつ”技術を体験しよう！」をキャッチフレーズに，建設業の魅力を PR する内容を企画しました。

屋内では，VR（仮想現実）を利用した工事現場体験や，ミニショベルのリモコン操作，ペーパ

ーブリッジ製作など、屋外では、ドローンの実演飛行や測量機器を使った距離当てクイズなどを行い、約300名の方々に体験していただきました(写真-1, 2)。



写真-1 大学のイベントに出展(屋内)



写真-2 大学のイベントに出展(屋外)

6. 見学会等の開催

次世代の主演となる子供たちに、社会資本の役割を正しく学んでもらい、将来の担い手確保につ

なげるため、各種学習会や教室を開催しています。

「立山カルデラ砂防体験学習会」、「こども砂防教室」、「こども雪教室」など、実際の現場を通して、社会資本整備の意義と必要性を理解していただけます。

8月1日(火)には親子を対象に橋の仕組みを学ぶバスツアーを開催し、ペーパーブリッジ製作や橋の見学、橋を取り上げたテレビ番組の収録参加など、いろいろな角度から橋の構造や役割を学んでいただきました(写真-3)。



写真-3 橋の仕組みを学ぶバスツアー

7. おわりに

地域の安全・安心を支える建設業の将来を担う若手技術者の確保・育成を図るため、トイレやシャワー室の改修などの労働環境の改善や、資格取得等の人材育成に対する支援、建設業の魅力をPRしたパンフレットの配布によるイメージアップにつながる情報発信など、若手や女性の技術者など担い手の確保に向けたさまざまな取組みを積極的に行っていきたいと考えています。